

旧岡山県農学校 現高松農業高校地域向け情報誌

備中高松城下町かわら版

http://www.takano.okayama-c.ed.jp/

朝礼台 我々は肥料桶もかつぐが

ピコノを弾く人でなければならぬ

校長 石田 正人

タイトルの言葉は、私が大学を出た頃に、京大の農学部のある新聞の記事の中で使われていた言葉だ。また、今年の5月27日、岡山市地域担い手育成協議会で、「これからの農業は、カッコイイ、感動がある、稼げる。この3Kですよ」と岡山市の経済局農林水産課の村田守課長さんから教えていただいた。人口七十万都市の幹部の方がおっしゃった重みのある言葉だ。さらに、6月4日、JICAを通じてのラオスからの一行7名が有機農業の研修ということで本校を訪れた。人口六百万、大阪府と同じ人口のその国の未来の農業技術者たちが、これからの農業は有機農業だと、県北の新庄村を訪問した後、本校の取組を視察に来られたのであった。同行されたJICAの植田チーフアドバイザーに本校のことを紹介してくださった元中国四国農政局の出射さんは、この備中高松が、まだこの国の誰もが有機農業という言葉を知らない頃、旧高松農協の藤井虎雄氏が有機農業を提唱したことをご存知だった。その日、本校を去られる遠い国の人たちに、お礼とエールのつもりで、高松の有機無農薬野菜生産組合「みどり会」の代表大森英夫氏から教わった「有機農業は勇氣農業だ」という言葉を贈った。農業を3Kの代名詞のように言っていた時代は終わった。農業は今や、希望、期待、感動の仕事だ。少なくとも、私の周りがかつてのような意味で3Kと言う言葉を使う人はいなくなりました。

第 94 号
平成 26 年 6 月 30 日

発行元
岡山県立
高松農業高等学校

tel
086-287-3711
fax
086-287-3713

◆農業クラブ校内意見発表会◆

6月17日(火)、校内意見発表会が開催されました。これは毎年全校生徒が農業に関する意見を書いて発表し合い、学校全体で各クラス代表による発表会を行うものです。この日は各クラス代表と科からの推薦者19名が「食料生産や食品加工」、「環境の保全や創造」、「文化や交流、福祉」などについて7分間の原稿にまとめ発表しました。どの発表も日々の学習や体験の中で得られた具体的な意見で熱意に溢れ、たくましさが見なされる素晴らしい発表会となりました。



審査結果は次のとおりで、学校代表として選出された3名は、7月23日に勝間田高校で開催される県大会に出場します。どうか高農生の代表として堂々と発表し、中国ブロック大会、全国大会を目指して頑張ってください。

◆最優秀賞◆

「心のノート」 大西美優 (3F) 県大会出場

◆優秀賞◆

「人間と動物、ポイ捨てから共存を考える」 津川捺美 (3Z) 県大会出場

「牧石青ネギと共に歩む人生」 今井優成 (1A) 県大会出場

・同 優秀賞受賞者

廣岡敬太 (3A)

信元 優 (3H)

◆卒業生を囲む会◆

6月12日(木)、3年生の進路意識を高めることを目的に、卒業生を囲む会が行われました。各方面で活躍されている先輩方をHRに招き、職場での様子や進路決定までの体験談など貴重な話を聞くことができました。先輩方からは、社会に出ると失敗は取り返しにきかないことや「信頼」が第一であること、また希望する会社があれば必ず事前に研究して訪問しておくことなど、アドバイスをいただきました。今年も高校卒業予定者に対する求人受付は7月1日から始まります。



◆岡山掃除に学ぶ会◆

6月22日(日)、本校を会場に「第一六〇回岡山掃除に学ぶ会(心を磨くトイレ掃除の会)」が開催されました。本校生徒26名を含む55名が参加し、約2時間の掃除実習に励んだ後、皆で団子汁をいただきながら交流を行いました。本校では9年連続で開催で、35年ぶりに母校を訪ねて来られた卒業生の方や親子連れ等、様々な方々と一緒に「凡事徹底」の大切さや仕事に対する考え方を学ぶことができ、まさに「心を磨く」良い機会となりました。



◆ラオスからの農業研修生が来校◆

6月4日(水)、JICA(国際協力機構)を通じて岡山県新庄村に有機農業の研修に来日しているラオスからの研修生一行7名が本校を訪れました。一行は、ラオス中部のサワンナケート県で農業指導を行う農業普及員ら(22～46歳の男女)で、「日本の進んだ農法を学び健康的な農産物の生産を故郷で広めたい」と新庄村のアジア有機農業連携活動推進協議会で研修を行い、帰国前に特に高校で有機農業に取り組み本校を視察するとともに農業を学ぶ高校生との交流を目的に来校されたものです。交流を行った農業科学科3年の環境農業専攻生たちは、国の新たな産業として有機農業を学ぶ彼らの熱心な姿に大きな刺激をもらった様子で、専攻長の廣岡敬太君は「しっかりと勉強して将来ラオスに先生として行きたい」と力強く話していました。



7月の行事

- 1(火) 求人受付開始
ケアハウスでの園芸交流
- 5(土) ハーブ研修会
- 7(月)～11(金) 期末考査
- 11(金) 第2回PTA役員会・評議委員会
- 14(月)～17(木) 通常授業(短縮)
- 15(火) 岡山西支援学校との交流(1Z)
- 15(火)～16(水) 家庭科技術検定食物4級
- 16(水) 家庭科技術検定被服4級
- 17(木) 農業技術検定上級
- 18(金) 終業式
- 19(土) 第1回日本農業技術検定
- 19(土)～20(日) 室内園芸装飾技能検定
- 21(月) 海の日
- 22(火)～23(水) 家庭科技術検定食物3級
- 22(火) 農業777 農業情報処理競技県大会
(高梁城南高校)
- 23(水) 農業777 意見発表県大会
(勝間田高校)
- 24(木)～31(木) 1・2年保護者会
- 24(木) 農業777 測量競技県大会 [平板]
(新見高校)
- 25(金) 農業777 測量競技県大会 [水準・セドライト]
(新見高校)
- 31(木) オープンスクール(中2対象)

8月の行事

- 1(金) オープンスクール(中3対象)
- 8(金) 夢みらい塾(岡山大学)
- 21(木) 社会人講師(1・2E)
- 23(土)～24(日) 福祉の「ゲーミング」講座
- 28(木) 始業式
- 29(金) 課題考査